

国語科 1年

詩の世界を楽しもう

担当 恵藤美貴

【活動の目標】

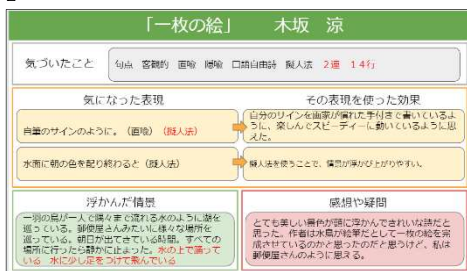
詩の情景を想像し、表現の効果について考えることを通して読み深めることができる。

【 問 い 】

- ・既習の詩で学んだことを生かして新しく学習する詩を多面的に読み、例に倣ってスライドにまとめさせる。(問いの工夫Ⅰ)
- ・学習を生かして自身が創作した詩を学校説明会に来校する小学6年生に見てもらう。(問いの工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
B4 詩から想像される情景, 特徴や表現の工夫をスライドにまとめる。	詩から想像される情景, 特徴や表現の工夫をワークシートに書き込む。
C1 まとめたスライドを使って発表し合う。	ワークシートを見せながら班員に発表する。
B5 友だちの発表を聞いて得た学びを赤色でスライドに追記する。スライドを提出する。	友だちの発表を聞いて得た学びを赤色で追記する。ワークシートを提出する。
C1 身近な「比喩」を探してストリームで伝え合う。	数名を指名して発表させる。
C1 「比喩」の効果を自分の言葉でまとめてストリームで伝える。	「比喩」の効果を自分の言葉でまとめてノートに記入し, 数名を指名して発表させる。

【資料】



B4 教科書の詩について、情景・特徴・表現の工夫をまとめたスライド



C1 身近な「比喩」を探してストリームで伝え合う

【ICT 機器を活用する良さ】

- 全員が意見を一齐に発信でき、一覧できるので、多くの考えを知ることができる。
- 字の丁寧さなどに惑わされず内容に迫ることができる。
- データで評価物が回収できるため、煩雑さが解消される。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・提出期限を提示してスライドを提出するように指示を出しても、プリントで提出する時よりも提出率が低い。
- ⇒原因
主体的に取り組みたいと思える課題になっていないからプリントのような現物もないため、授業を離れると提出することを忘れる。
- ⇒改善案など
授業時間内で提出させる。期限の日の授業で完了していなくても提出させる。